

皆さんのお子さんはどうですか？

こんな調査が実施されたようです！

2015年5月実施

象印マホービンが行った子どもの生活体験に関する調査で、マッチで火を付けることができる小学生は、20年前の3分の1となり、マッチや缶切りが使えない小学生の割合が、20年前に比べて増えていることが分かったようです。

この調査は2015年5月、首都圏に住む小学生の母親を対象に、インターネット上で実施したそうです。330人から回答があったようで、同様の調査を20年前の1995年5月にインターネットではなく、調査票を用いて実施していて、今回の結果と比較し、発表しました。

今回の調査によりますと、マッチを使える小学生は、全体の18.1%で、20年前の58.9%を大きく下回ったそうです。「子どもにやらせたことがない」と回答した親は68.8%で、20年前(25.8%)の約2.7倍でした。

包丁でリンゴの皮をむくことができるは10.1%で、(20年前は36.3%) 缶切りで缶詰を開けることができるは、20.7%(20年前は50.7%)で、いずれも6~7割の親が「子どもにやらせたことがない」と答えたそうです。「タオルを絞ることができない・子どもにやらせたことがない」との回答も計19.7%に達していて、20年前の計2.6%を大きく上回っています。

増えた項目としては、外でよく遊ぶ79.7%(20年前は67.9%) 泥だらけになって遊んだ経験がある75.6%(20年前72%)などがあり、20年前よりアップしているようです。

今回初めて行った質問で、「自分専用の携帯電話やスマートフォンを持っている」と答えたのは小学生全体で29.2%、6年生では43.3%にも達していたそうです。

母親に、子どもの生活技術の習熟度を尋ねたところ、「平均的だと思う」との回答が59.5%(20年前54.3%)、「もっとさせないといけないと思う」は21%(20年前32.3%)。

便利な道具が増え、体験の機会が減ったことが、マッチや缶切りなどを使える小学生が減った要因のひとつではないかと調査実施会社は分析しているようですが……出来ればマッチは使えないほうがいいな 出来ればタオルは絞れたほうがいいな と思うのはオッサンの私だけ？

